



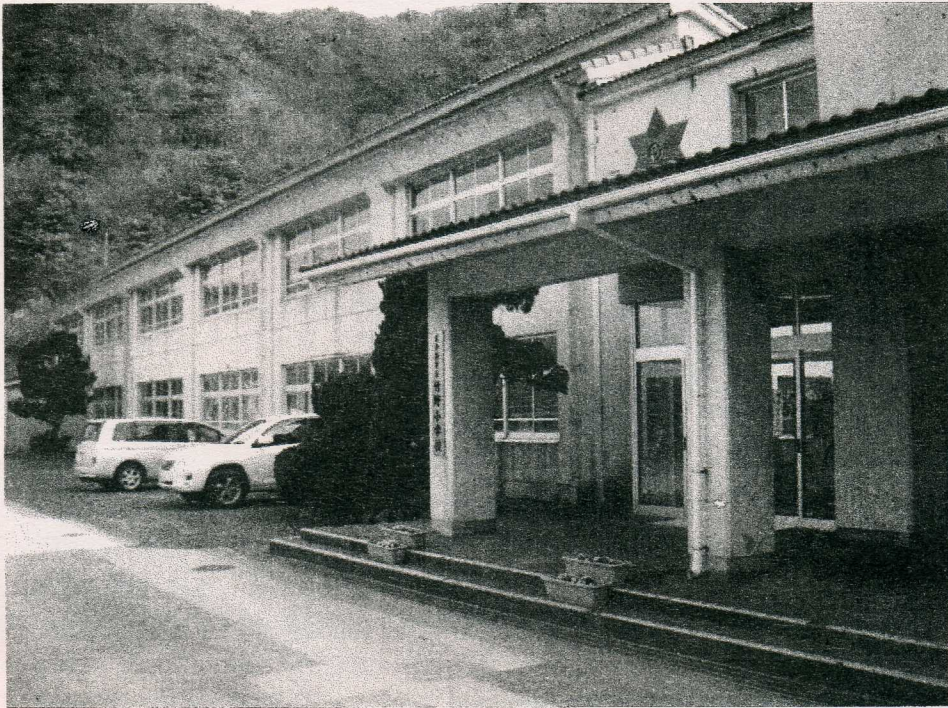
竹野小学校閉校式

第一部 閉校式典

第二部 惜別の会

期 日 平成22年3月27日(土)

場 所 京丹後市立竹野小学校



京丹後市

学校沿革の概要

- 7年 竹野小学校、養国寺を借り受け開校する。
- 9年 京都府竹野郡竹野尋常小学校に改称する。
- 10年 竹野村字小坂の下に新校舎を新築する。
- 39年 修養年限3年の高等科を併設し、竹野尋常高等小学校に改称する。
- 42年 新校舎竣工（落成式4月1日）
- 11年 新校舎落成（総工費53,000余円）、校歌制定
- 16年 竹野尋常高等小学校と此代尋常小学校と合併し、竹野国民学校に改称する。
- 22年 竹野村立竹野小学校に改称する。
- 30年 町村合併により、丹後町立竹野小学校に改称する。
- 36年 無事故無災害校として、日本安全会から表彰される。
- 50年 学校統合により、此代分校が宇川小学校に統合する。
- 52年 学校安全努力校として、京都府教育委員会表彰を受賞する。
- 53年 校舎改築
- 54年 新校舎竣工（2月13日） 総工費325,965千円
京都府教育委員会委嘱研究実践校（安全教育）に推薦される。
「わんぱくの森」山登り始まる。
- 55年 学校安全教育研究発表をする。
- 56年 学校安全研究校として、文部大臣表彰を受賞する。
- 59年 校区変更により、此代区が宇川小学区から竹野小学校区に統合される。
- 62年 京都府教育委員会から、研究実践推進校「算数科」の指定を受ける。
- 元年 グラウンド拡張工事のため、土入れが始まる。
- 3年 学童・生徒のボランティア活動普及事業協力校として指定を受ける。（3～5年）
- 4年 グラウンド拡張工事終了
開かれた学校を目指し、教育公開日の設定、地区の識者を集めて教育懇談会を
する。
- 6年 グラウンドの周囲に桜を記念植樹する。（6～7年）
- 7年 文部省研究指定校「ふるさと交流学習促進事業」として、木津川台小学校と交
る。（7～8年）
- 8年 ふるさと交流学習で木津川台小学校に行き、PTA会員宅にホームステイをする
- 12年 全国豊かな海づくり大会（網野町浅茂川海岸）に5年生が参加する。
- 13年 京都府農林水産部から「愛鳥モデル校」の指定を受ける。（13～15年）
京都地方法務局から指定を受け、「人権の花」運動に取り組む。
間人小学校改築工事に伴い、9月から間人小学校の給食を本校給食室で調理する
- 14年 学校前の国道拡幅工事に伴い、土手の松の木を伐採する。
- 15年 丹後小・中学校音楽フェスティバルに全児童が出場する。
- 16年 丹後6町が合併し京丹後市の誕生に伴い、京丹後市立竹野小学校と改称する。
木津川台小学校との交流（6年児童が修学旅行で来町し本校5・6年生児童と交
愛鳥モデル校の指定（2期目、16～18年）
- 17年 国道178号竹野地区拡幅工事が完了するとともに、信号機が設置される。（3月）
- 20年 丹後小・中学校音楽フェスティバルに全児童が出場する。
- 21年 京丹後市立学校条例の一部改正により、平成22年4月1日から市立間人小学校
統合が決まる。（10月8日）
- 22年 3月27日、閉校式（式典及び惜別の会）を挙げる。
3月31日、136年続いた本校の歴史に幕を閉じる。

国歌

君が代は
千代に八千代に
さざれ石の
いわお
巖となりて
こけ
苔のむすまで

校歌

- 1 いち お さ
依遅が尾の松 風冴えて
あお
大空 碧く 雲はゆく
高いのぞみに胸を張り
おお か
雄々しく翔けよう 竹野校
- 2 澄みひろがった 日本海
うらわ
浦曲に寄せる 白い波
広い心で手をつなぎ
むつみ
睦 はげもう 竹野校
- 3 ひめ みやい よ
媛の宮居や 古き代の
おか べ
すがたとどめる 丘の辺に
とわ
永遠に心の玉みがき
す
直ぐに伸びよう竹野校

市歌

- 1 海青く 緑の半島 風そよぐ
めぐりくる 季節のなかに いたが
描く夢 色鮮やかに いつまでも
ふるさと色は 君の ^{げんしよく}原色
- 2 うすずみ くもま うなばら
薄墨の 雲間に光る 海原は
はるかなる 絹の道と 波つづき
うらにし
季節風に ぬかるむ大地 踏みし
歩いていこう 夢が道しるべ
- 3 さんさんと ^{そら}天に子午線 時が行
世代越え 伝え守る 手から手に
ものづくり ものがたりの 玉手
はるか未来へ 君に預け物
- 4 いにしへの 歴史をたどる 丹後
新しき 王国へと つづく道
手をつなごう みんなのお思いか
ただひたすらに 京、丹後の 明